

事業番号	16 01 04	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	登山者の安全確保事業	部局	警察本部	課・室	地域部		
		実施期間	S29 ～	E-mail	police-keimu@pref.nagano.lg.jp		
次期総合5か年計画（答申書）との対応関係							
政策の柱	持続可能で安定した暮らしを守る						

1 現状と課題

令和3年中は、コロナ禍において密を避けられるアウトドアレジャーとして登山人気が高まる中、山岳遭難発生件数は257件（前年比74件増）、遭難者数は276人（前年比78人増）と、件数・人数共に前年と比べ大幅に増加した。増加傾向にある山岳遭難に的確に対処するためには、山岳パトロール等を通じた安全指導や県観光部等関係機関と連携した安全登山の啓発等、遭難防止諸対策を推進していく必要があるほか、救助装備品の更新整備、訓練や外部講習による技能向上及び実践的な訓練の実施等を通じた救助態勢の充実・強化が不可欠である。

2 事業目的

長野県内を訪れる登山者に対して、県警、県観光部山岳高原観光課及び各地区山岳遭難防止対策協会が連携し、安全登山に資する情報発信等、効果的な山岳遭難防止活動を行うとともに、安全かつ迅速・的確な山岳遭難救助活動を推進し、登山者の安全を確保する。

3 事業目的を達成するための取組

①山岳パトロール等による登山者に対する安全指導の実施

・山岳遭難を防止し、登山者の安全を確保するため、県警山岳遭難救助隊及び山岳高原パトロール隊が各地区山岳遭難防止対策協会救助隊や長野県山岳遭難防止常駐隊と連携し、登山者の集中が見込まれる春の大型連休や夏山、秋の紅葉期間中に、登山口や山中等において常駐・山岳パトロール活動を行い、登山者に安全指導を実施



②各地区山岳遭難防止対策協会救助隊員と連携した救助訓練等の実施

・救助活動において連携が必要不可欠な各地区山岳遭難防止対策協会救助隊員を対象に県警山岳遭難救助隊と合同で救助技術研修会、救急法研修会を実施



③山岳遭難救助隊の高度化を始めとする救助態勢の強化

・安全かつ迅速・的確な救助活動を行うため、活動の安全に直結する装備品の更新整備のほか、外部団体や企業が主催するファーストエイド講習や救助技術講習の受講を通じて救助隊員の技能向上を図り、山岳遭難救助隊の高度化を推進



・増加する里山における山岳遭難に的確に対処するため、山岳高原パトロール隊の装備品整備や実践的な救助訓練を通じて救助態勢の強化を推進

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①											
②											
③											

5 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)				0		
	(要求)		16,003		16,003	9,543	-
R4年度	0	13,204	0	13,204	8,227	-	
R3年度	0	12,283	0	12,283	8,701	12,054	-

事業番号	16 01 04	細事業一覧（令和5年度実施事業分）			■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	登山者の安全確保事業			部局	警察本部	課・室	地域部	

細事業 No.	細事業名			R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	山岳遭難救助活動経費			12,283 千円	13,204 千円	(予算案) (要求) 16,003 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	山岳遭難救助活動経費	直接 負担金	<ul style="list-style-type: none"> ・北アルプス等主要山岳地帯での常駐パトロール、遭難防止啓発活動の強化等 ・県警山岳遭難救助隊員や山岳高原パトロール隊員が救助活動等で使用する装備品の整備及び救助訓練の実施 ・長野県山岳遭難防止対策協会が行う、救助訓練に関わる経費、救助装備品の購入経費等の負担金 			
年間約50日の常駐パトロールの実施、救助隊員41名、パトロール隊員110名、13地区遭対協の装備品整備						